

プログラムの説明

現在のところソフトができることと対応するソフト名は、

- ・ミラー動作軸の現在位置を読む Mirrorcontrol.vi
- ・所定の角度にミラーを移動する Mirrorcontrol.vi
- ・Pt または Rh が選択する ChangeMaterial.vi

である。以下にこれらの具体的な操作を記述する。

また、これらのプログラムは、一度動作させると中断できないので注意すること。

A. ミラー動作軸の現在位置を読む

1. 37XU03 あるいは 37XU04 のどちらかの PC 上にある、Mirrorcontrol.vi を立ち上げる。次のような画面が現れる。



2. Mode select のバーを Position Read へ倒す。(バーをクリックすると選択できる)
3. 実行すると、各軸の現在位置が表示される。M1 Y、M2 Y の数値をみると、ミラーの位置関係が次のようにわかる。

M1 Y = -5 mm, M2 Y = 5 mm

ミラーは退避 (光軸に挿入されていない)

M1 Y = 0 mm, M2 は任意

ミラーが挿入されている

下の例では、ミラーは退避状態で、Rh が選択されていることがわかる。



5. 通常ではミラーは退避状態であると思われる。反射層の材質を変えたいときは後述のC.を参照すること。

B. 所定の角度にミラーを移動する

1. ソフトはA.と同じ **Mirrorcontrol.vi** である。これを起動する。(37XU03 あるいは 37XU04 のどちらかの PC 内にある)
2. 次図のように設定する。



3. プログラムを実行する。

C. ミラーを光軸から退避させる

基本的な操作はB.と同じ。退避時は次のように設定する。

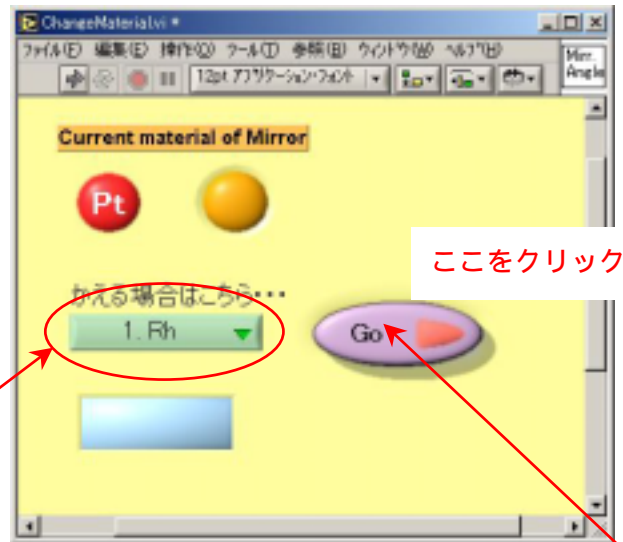


D . Pt または Rh が選択

- 1 . プログラム (ChangeMaterial.vi) を立ち上げる。



- 2 . とりあえず実行すると、現在のコート層が表示される。下図の例では Pt。



この選択肢が「0.Pt , 1.Rh , 2.NoChange」とあるので望むものを選択して、

移動中はこうなる。



移動が完了すると、こうなる。



更新履歷

Ver.030414 新規作成